

令和4年度

みなみ

鶴ヶ島市立南中学校

消火訓練



全学年

特色

- コロナで中断していたが、毎年鶴ヶ島消防署から消防士の方を招いて、地震火災を想定した避難訓練と水消火器を用いた消火訓練を行っている。今年は3年ぶりに実施できた。避難訓練では、119番通報訓練も行い、消防署とのやり取り、教職員の動きを再確認することができた。消火訓練では、火災発見時の声出しや火元を狙う消火の仕方を学ぶことができた。

生徒の感想

- 消火器を使った消火訓練を初めてやった。火災を発見した時に、大声を出すのが恥ずかしかった。最後に見本を見せてくれた先生方はさすがだなと思った。(3年男子)
- 今年3回目の避難訓練だったが、1回目に校長先生に怒られて、今回、回を重ねるごとに良くなっていると褒めてもらって、うれしかった。災害時は、中学生は地域を支える立場であることを学んだ。(1年女子)

成果

- 火災発生時の基本行動について知り、実際に行動に移すことができるようになった。
- 災害時の教師の役割、指導体制を確認することができた。
- 消防士指導のもと消火器を使った初期消火方法を確認できた。